

特 別 調 査 「金融サービスにおける I T 利活用と中小企業」

問 1. 貴社では、現状の金融機関取引が I T 化していくことで、どのような変化が起こると考えていますか。下記のなかからもっともあてはまるものを 1 つ選んでお答えください。

(単位：件・%)

	1. 決済や入出金の利便性が高まる	2. 資金調達(借入等)がしやすくなる	3. 金利や手数料の引下げが期待される	4. 金融取引にかかる安全性が向上する	5. 決済や入出金の煩雑性が増える	6. 資金調達(借入等)が難しくなる	7. 金利や手数料の引上げが懸念される	8. 金融取引にかかる安全性が低下する	9. 変わらない	10. わからない
合計(構成比)	28.3	0.5	5.2	1.2	2.3	0.0	1.2	8.1	16.2	37.0
合計件数	49	1	9	2	4	0	2	14	28	64
製 造	8	0	4	0	0	0	1	4	5	16
建 設	15	0	2	2	2	0	1	3	5	13
卸 売	4	0	0	0	0	0	0	1	0	2
小 売	14	1	2	0	2	0	0	2	11	22
サービス	8	0	1	0	0	0	0	4	7	11

* 金融取引の I T 化に伴う変化については、肯定的意見が 35.2%と、否定的意見の 11.6%を上回った。また、「変わらない」は 16.2%、「わからない」は 37.0%となった。肯定的意見では「決済や入出金の利便性が高まる」が 28.3%と、「決済や入出金が煩雑化する」の 2.3%を大きく上回った。「資金調達」や「金利・手数料」についても肯定的意見が上回った。安全性については、「低下」8.1%と「向上」1.2%を上回っている。

問 2. 最近、I T 化の進展にともない、I T を活用した金融サービスを提供する金融機関が始めっていますが、貴社では、問 3・問 4 の回答項目に挙げるような金融サービスを提供する「金融と I T の融合(フィンテック)」をご存知でしたか。また、こうした I T を活用した金融サービスを貴社の事業上で利用したいとお考えですか。下記の中からそれぞれ 1 つずつ選んでお答えください。

(単位：件・%)

	金融と I T の融合(フィンテック)の認知度				金融 I T サービスの利用意向				
	1. 内容を知っていて、既に利用している	2. 内容を知っているが、利用していない	3. 言葉だけ聞いたことがある	4. 知らない、聞いたことがない	5. 利用したい	6. どちらかといえば利用したい	7. わからない	8. どちらかといえば利用したくない	9. 利用したくない
合計(構成比)	6.4	11.5	30.1	52.0	6.9	9.3	47.4	9.2	27.2
合計件数	11	20	52	90	12	16	82	16	47
製 造	4	3	10	21	4	4	18	3	9
建 設	0	8	16	19	0	2	23	6	12
卸 売	1	1	3	2	1	2	4	0	0
小 売	4	5	15	31	5	4	21	6	18
サービス	2	3	8	17	2	4	16	1	8

* 金融取引と I T の融合の認知度については、「内容を知っており利用している」が 6.4%、「内容を知っているが利用していない」が 11.5%と、認識している企業は 2 割以下となっている。一方、「知らない、聞いたことがない」が 52.0%、「言葉だけ聞いたことがある」が 30.1%と、8 割以上の企業で十分に知られていない結果となった。

問3. 貴社が組織（事業）としてITを活用した金融サービスを利用している（あるいは利用したいと考えている）サービスはございますか。下記のなかから3つ以内で選んでお答えください。

（複数回答）（単位：件・％）

	1. スマホ決済・送金	2. 特定多数からのインターネットを通じた資金調達（クラウドファンディング）	3. インターネット技術を活用した会計ソフト（クラウド会計サービス）	4. インターネット上での自動投資サービス（オンライン投資/ロボアドバイザー）	5. インターネット上での借入れ（オンライン融資）	6. 仮想通貨（ビットコインなど）	7. リアルタイムで取引状況等をみた借入れ（流通ファイナンス）	8. インターネット技術を活用した経営・業務支援系サービス（事務処理など）	9. 利用したくない	10. その他
合計（構成比）	8.7	2.9	8.7	0.6	5.8	0.0	1.2	15.6	65.9	5.8
合計件数	15	5	15	1	10	0	2	27	114	10
製造	4	2	4	0	4	0	0	6	27	1
建設	0	0	6	0	2	0	1	10	24	5
卸売	0	0	1	1	1	0	1	1	4	0
小売	9	3	2	0	1	0	0	6	37	3
サービス	2	0	2	0	2	0	0	4	22	1

＊事業上で、利用している（あるいは利用したい）サービスについては、「経営・事業支援系サービス（事務処理など）」が15.6%と最も高く、次に、「スマホ決済・送金」と「会計ソフト」が同率で8.7%、「インターネット上での借入れ」5.8%と続いた。一方、「利用したくない」が65.9%と全体の6割以上を占めた。

問4. 社長ならびに家族が個人としてITを活用した金融サービスを利用している（あるいは利用したいと考えている）サービスはございますか。下記のなかから3つ以内で選んでお答えください。

（複数回答）（単位：件・％）

	1. スマホ決済・送金	2. クラウドファンディング	3. 家計簿サービス	4. オンライン投資/ロボアドバイザー	5. オンライン融資	6. 仮想通貨（ビットコインなど）	7. 利用したくない	8. その他		
合計（構成比）	25.4	1.7	2.9	2.3	2.3	2.3	66.5	2.9		
合計件数	44	3	5	4	4	4	115	5		
製造	11	1	3	2	1	1	22	1		
建設	9	0	2	0	0	2	29	3		
卸売	1	0	0	0	1	0	5	0		
小売	14	1	0	1	1	0	39	1		
サービス	9	1	0	1	1	1	20	0		

＊個人での金融サービスの利用については、「スマホ決済・送金」が25.4%と、他の選択肢を圧倒した。次に、「家計簿サービス」が2.9%と続き、「オンライン投資」「オンライン融資」「仮想通貨」が同率の2.3%となった。一方、「利用したくない」は66.5%と、全体の6割以上を占めた。

問5. 取引金融機関から貴社に対して、事業上でITを活用した金融サービスの利用を勧奨されたことがありますか。下記のなかから、特に強く提案してきた取引金融機関および特に強く勧奨されたサービスをそれぞれ1つ選んでお答えください。

(単位: 件・%)

	提案してきた取引金融機関					取引金融機関から提案されたサービス				
	1. メガバンク	2. 地方銀行・第二地方銀行	3. 信用金庫	4. 信用組合・JA等	5. なし	6. スマホ決済・送金	7. クラウドファンディング	8. クラウド会計サービス	9. その他	0. なし
合計(構成比)	1.2	2.2	3.5	0.6	92.5	1.7	1.2	0.0	1.7	95.4
合計件数	2	4	6	1	160	3	2	0	3	165
製造	0	3	1	0	34	1	1	0	2	34
建設	1	0	1	1	40	0	0	0	0	43
卸売	0	0	0	0	7	0	0	0	0	7
小売	1	1	3	0	49	1	1	0	1	51
サービス	0	0	1	0	30	1	0	0	0	30

* ITを活用した金融サービス利用を提案してきた金融機関については、「信用金庫」が3.5%と最も高く、「地銀・第二地銀」が2.2%、「メガバンク」が1.2%と続いた。調査対象先が信用金庫取引先であることもあり、「信用金庫が最も多い」という回答となったが、一方、「提案なし」は92.5%と高い数値結果となった。金融機関から提案されたサービスについては、「スマホ決済・送金」「その他」が1.7%、次に、「クラウドファンディング」が1.2%となっている。

～調査員のコメントから～

- 原材料の高騰で利幅減少している。販売価格の値上げも難しく苦慮している。(製造業)
- 秋鮭の水揚げに期待しているが、台風、海水温上昇の影響か漁の見通しは悪い。(製造業)
- 天候不順や台風の影響で昆布漁に影響が出ており、品不足が予想される。(製造業)
- 昨年に比べ売上は増加しているが、材料価格が上昇して来ており、今後の売上増加には厳しさを感じている。(製造業)
- 公共工事の減少により、今後の事業縮小を考えている。(建設業)
- 工事の減少、近年の経済状況から雇用面の見直しを検討している。(建設業)
- 大型工事、民間工事の受注で年内多忙となっているが、人手不足の状況になっており、人手の確保に苦慮している。(建設業)
- 材料価格の高騰により、仕入や在庫管理が難しくなっている。(建設業)
- 人口減少、販売先の高齢化に伴う廃業等で、取引先の減少が大きな課題になっている。(卸売業)
- 仕入れ価格が上昇しており利幅が減少している。今後の販売価格の見直しを検討している。(卸売業)
- 大型量販店、ホームセンター等の影響大きく、売上の減少が続いている。(小売業)
- 取引先の増加により売上も増加、円高の影響で安価な仕入れができている。(小売業)
- テレビやラジオ、雑誌等に多く取り上げられ町外からの来店客増加している。(小売業)
- 後継者無く、近隣の大型店の影響も大きく、事業縮小、廃業を検討している。(小売業)
- 固定客多く経営は安定しているが、顧客の高齢化に伴い来店客数が減少。(サービス業)
- 事業所主体に点検・修理は順調に推移している。新設備導入を予定。(サービス業)
- 人材・技術力に課題が出てきている。今後、人材の育成、技術力の向上で作業の効率化を図っていく。(サービス業)
- 観光資源のPR効果で、宿泊、利用客が増加している。食事の新メニューを随時提供している。(サービス業)